

一般質問

23人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。議員名の横のコードの読み込みで、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。※閲覧には、通信料が発生します。

イタイタイ病提訴50年を迎えて 柝山 数男 (自由民主党)



問 提訴50年を迎え、本市のこれまでのイタイタイ病対策への取り組みおよび今後に向けての見解は。

答 本市では、これまで、流域住民を対象とした健康調査への協力や農地復元事業に係る費用の一部負担、神通川水系における水質検査の実施などに取り組んできている。問題は、現代の若い世代がイタイタイ病のことを知らないことで、近代における公害の歴史、さらに富山におけるイタイタイ病の歴史をしっかりと伝えていくことが大変大事だと思う。

(市長、環境部長)



【質問項目】

- ▼マイナンバーカードの普及促進 ▼浸水対策
- ▼農業対策 ▼イタイタイ病提訴50年を迎えて



富山県立イタイタイ病資料館

芸術文化の振興と中ホール建設促進 横野 昭 (自由民主党)



問 中ホール建設について、昨年度の調査結果を受けての基本的な考え方は。

答 建設場所や機能、整備手法などについて、調査検討を行った。建設候補地としては、アンケートや民間の市場調査の結果等を踏まえ、芸術文化ホールの北側市有地に決定した。ホールの機能としては、演劇や歌舞伎等幅広く対応可能な多機能型を基本とし、整備手法としては、財政負担の軽減を図るため、設計、建設を民間事業者が行い、市がホール部分を賃借するリース方式が有効と確認しているが、今後さらに検討していく。

(企画管理部長)



【質問項目】

- ▼放課後児童健全育成事業特別拡充事業 ▼エゴマの作付けおよびエゴマ収穫機械の導入 ▼大沢野、大山文化会館廃止に伴う今後の方向性
- ▼高齢者運転免許自主返納支援事業 ▼富山市まちなか観光案内所 など

安心安全な暮らし

高田 真里 (自由民主党)



問 災害が起きる前に、災害避難時にペット同伴の避難所の設置計画を検討することについての見解は。

答 ペットの避難所での生活に課題がある。避難してくる市民の中には、動物を飼っていない方、動物が苦手な方などがいるほか、避難所の規模によっても対応が異なると考えられる。このことを踏まえ、他都市の事例を調査するとともに、共同で避難所の運営にあたる地域住民との間で、避難所運営ゲームを活用するなどして、ペットの取り扱いについて考えていく必要がある。



(建設部長)

【質問項目】

- ▼スポーツを介したまちづくりの活性化
- ▼安心安全な暮らし ▼こども食堂 ▼カラス対策

イタイタイ病とダークツーリズム※

佐藤 則寿 (公明党)



問 イタイタイ病や災害等の負の遺産の再発掘やリニューアルへの支援策を検討できないか。

答 これまでも、富山大空襲や神通川の治水の歴史等を振り返る行事・展示等を実施しているほか、各校区では、地域の自然・歴史等に理解を深めるふるさと教育が展開されている。こうした取り組みはふるさとへの愛着や誇り、防災意識を高める意味でも重要である。今後とも国や県等と連携し、悲惨な歴史から平和な社会を築き上げてきた先人の努力や功績を後世に受け継ぐ取り組みを行っていききたい。



(企画管理部長)

【質問項目】

- ▼防災対策 ▼イタイタイ病とダークツーリズム
- ▼家庭教育支援 ▼地域共生社会の構築

※ダークツーリズムとは…戦争・公害・災害等、人類の負の歴史を対象にした観光。

職員の旧姓使用の取り扱い

村石 篤 (社会民主党議員会)



問 富山市職員の旧姓使用の取り扱いについての要綱の一部改正による変更点は。

答 今回の主な変更点は、これまで旧姓の使用を認めていなかった①身分証明書や辞令書といった職員の身分関係に関する文書②建築確認、営業許可、立入検査、徴税等の法令に基づく行政処分など公権力の行使に関する文書一についても、旧姓を使用できるよう、範囲を拡大したことである。

(市長、企画管理部長)



【質問項目】

- ▼職員の旧姓使用の取り扱い
- ▼民法および戸籍法における夫婦別姓の現状
- ▼会計年度任用職員制度の準備状況等 ▼消防局 ▼保育所

中心市街地対策

江西 照康 (自由民主党)



問 市道上にあるアーケードの安全確保のため、道路管理者として、点検・管理等の指導は、どう行っているか。



答 市道の占用については、道路管理者である市が①維持管理は占有者で行うこと②道路の構造または交通に支障を及ぼさないよう常時良好な状態に保つこと③風雨等による剥離、倒壊、落下等の危険のないよう維持管理をすること④占用物件が原因となり第三者に損害を与えた場合は、全て占有者とその賠償の責めを負うこと一等の条件を附して許可し、5年に1度の更新の際も、あらためて指導を行っている。(建設部長)

【質問項目】

▼読書会 ▼中心市街地対策
▼都市農業振興基本法と市街化区域内の農地



中心市街地のアーケード

自治会活動保険加入促進

久保 大憲 (自由民主党)



問 安心して地域活動に参加できるよう、自治会活動保険の周知や加入の促進を図るべきと考えるが見解は。



答 これまでも、自治振興会や町内会等から問い合わせがあった際には、大手保険会社が取り扱う地域活動中の傷害事故や賠償責任を保障する保険の情報提供を行ってきた。自治会活動保険は地域住民が安心して自治会活動に参加する一助となるため、あらためて、地域活動の中心となる自治振興会すべてに保険に関する情報を周知していきたい。(市民生活部長)

【質問項目】

▼路面電車上滝線乗り入れ
▼自治会活動保険加入促進

市職員の人材育成

松井 邦人 (自由民主党)



問 職種や専門分野の垣根を越えて研鑽し、職員同士が情報交換できる関係づくりが必要と考えるが、見解は。



答 特定任期付職員を講師として開催した全職員対象の研修により、少なからず部局横断的な情報共有や職員同士の交流ができたと考えている。今後もさまざまな研修等を通して、異なる職種の職員が知識や意見を交換しあい、相互に協力・連携できる関係を構築することにより、目的意識や目標を共有することが、市役所全体の組織力を高め、ひいては市民サービスの向上につながっていくと考えている。(企画管理部長)

【質問項目】

▼市職員の人材育成 ▼富山駅構内の情報表示

山室二区公園

金井 毅俊 (日本維新の会)



問 これからも多くの人々に利用される公園として整備が求められるが、整備の進捗状況および今年度の事業予定は。



答 昭和44年の都市計画決定後、用地買収を進めており、用地はほぼ取得している状況である。今年度は、子どもからお年寄りまで、レクリエーションや健康づくり等に利用できる緑のオープンスペースとなるよう、公園のレイアウトなどを検討する基本設計を行う。本格整備に当たっては、国の交付金など有利な財源を活用して事業を進めていきたいと考えている。(建設部長)

【質問項目】

▼山室二区公園 ▼子ども会 ▼認可外保育施設

教育環境の充実 (教員の多忙化解消)

金谷 幸則 (自由民主党)



問 勤務状況調査の結果を受けて、今後どのような対応策を検討しているのか。



答 今年度から全小中学校において、8月14～16日の3日間を学校閉庁日として設定した。さらに、小学校ではALTの増員、中学校では成績や生徒の出欠を、より効率的に処理・管理できる校務支援システムの導入などを行った。また、全小中学校において、勤務時間外の電話対応に、自動音声の導入を検討している。多忙化解消の根本的な解決策は、小中学校の教員を増やすこと以外にはないため、引き続き、国や県に働きかけていきたい。(教育長)

【質問項目】

▼教育環境の充実 ▼まちづくり政策
▼市内大学との連携

外郭団体の経営改善

泉 英之 (自由民主党)



問 外郭団体の解散による多額の負債を税金で補填するより、支援して再生させる取り組みが大事と考えるがどうか。

答 一部外郭団体は、市町村合併直後はとても株式会社とは思えない経営実態があり、今まで少しずつ改善してきた。今後は少し大胆に目標設定しないと、さらなる改善は見込めないと考えている。株式会社であるからには収支を改善して利益を出し、存続してほしい。決して外郭団体を切りたい訳ではなく、黒字を出して市に納税するぐらいの気持ちで取り組んでもらいたいとの思いだ。(市長)



【質問項目】
▼幼小一貫校の可能性
▼外郭団体の経営改善



立山山麓スキー場 (大山観光開発が運営)にあるジップラインアドベンチャー立山

情報公開の基本姿勢と推進

上野 蛭 (光)



問 住民自治の観点から、市の意思形成過程の情報も議会の議決前に公開できないか。

答 例えば、予算要求に関する資料を予算編成段階で情報公開請求された場合は、外部からの干渉、圧力等により意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れや市民に対し予断を与える恐れがあると判断し、非公開になると思われる。議決後であれば、公開できることとなるのは確実であるが、公開時期については情報公開制度の原則を踏まえ、判例や他都市の状況を研究していきたい。(企画管理部長)



【質問項目】
▼情報公開の基本姿勢と推進
▼育児休業中の保育園継続

中心市街地活性化

竹田 勝 (自由民主党)



問 富山地方鉄道本線の高架化の早期実現を期待するが、本市のスタンス、今後の協議の見通しは。

答 富山駅周辺地区における南北一体的なまちづくりの早期実現には、まずは鉄道の高架化を進めることが大事である。事業主体である県が、事業者負担の軽減策の検討が必要であると判断すれば、市としても協力していきたい。来年3月に完了予定のあいの風とやま鉄道の高架化に引き続いて、切れ目なく富山地方鉄道の高架化に着手できるよう、今後、県とともに富山地方鉄道との協議を鋭意進めたい。(市長)



【質問項目】
▼中心市街地活性化
▼学校選択制の見直しならびに小中一貫校

働き盛りの引きこもりの現状と対策

舎川 智也 (自由民主党)



問 働き盛りの引きこもりが拡大している社会背景や富山市の実態への対応策は。

答 中高年になってからの引きこもりの方々への対応については、ストレス等によるうつ病や発達障害に対する周囲の理解が重要である。市では新入社員の教育担当者などを対象として、職場で悩んでいる人に声をかける職域ゲートキーパーを養成するとともに、今年度からは新たに引きこもりに対する出前講座も加え、取り組みを行っている。(福祉保健部長)



【質問項目】
▼働き盛りの引きこもりと中小企業を取り巻く支援策
▼富山市の民泊

精神障害者の医療費助成

小西 直樹 (日本共産党)



問 助成拡充の実現に向けて、国・県に対してどう働きかけをしていくのか。

答 助成制度の拡充については、4月の市町村長会議において県知事への申し入れを行い、5月の北信越市長会では、本市からの提案が国への要望事項の一つとして採択され、全国市長会を経由して厚生労働省や国会議員に対して制度の改善を求めている。さらに7月には、本市重点事業の一つとして、県知事や市選出の県議会議員等に問題の所在を説明する。障害の種類に関係なく、共通の制度としていくべきであると考えており、今後も主張を続けていく。(市長)



【質問項目】
▼精神障害者の医療費助成 ▼国民健康保険料の子ども均等割負担
▼介護保険の制度改定と富山市高齢者総合福祉プラン
▼北前船の日本遺産認定

防災・減災対策

尾上 一彦 (会派 誠政)



問 防災行政無線は、屋内等では十分聞き取れない場合がある。今後の災害等に関する情報伝達についての考えは。



答 市では、緊急速報メールやSNS、スマートフォンアプリなどによる情報伝達手段の多重化・多様化を推進しているほか、報道機関等と災害情報を共有するLアラートを運用し、テレビ・ラジオを通じた情報伝達の迅速化に努めている。さらに、災害時に孤立する恐れがある集落など地域特性に応じ、地区センターなどに衛星携帯電話を設置した。今後とも、情報伝達手段の活用について、周知に努めたい。(建設部長)

【質問項目】

▼中学校における部活動 ▼防災・減災対策 ▼違反対象物に係る公表制度
▼生活困窮者対策 ▼富山市スーパーシニア活躍促進人材バンク

空き家対策 (八尾地区の取り組み)

大島 満 (フォーラム38)



問 八尾地区のまち並みを守るため、伝統的家屋や商業店舗などの修景および、建て替えや新築時の修景について工事費の一部を補助しているが、その実績は。



答 八尾地区における、まち並み修景等整備事業補助制度の補助実績は、事業開始の19年から30年3月末までで、伝統的家屋の表構えの維持・保全については3件で補助額1,342万円、一般建築物の屋根や外壁、格子・手すり、外構等の修景工事費については65件で補助額1億8,346万円となっている。

(活力都市創造部長)

【質問項目】

▼空き家対策 ▼富山市道路照明LED化事業
▼民泊新法における富山市の状況

活力都市推進における健康寿命の延伸

松井 桂将 (公明党)



問 ヘルスケアポイント制度を活用し、運動を継続する動機付けを図り、健康づくりを目指した取り組みが必要と考えるが、見解は。



答 今年度から3カ年で、部局横断的に健康長寿コンシェルジュ・サービス事業の実施を計画しており、4月にプロジェクトチームを設置した。今後、この事業を進めるに当たり、本市の課題である特定健康診査の受診率の向上や、さまざまな健康づくりプログラムへの参加を促すインセンティブの一つとして、ポイント制の導入などについても、検討していきたい。(福祉保健部長)

【質問項目】

▼公共施設マネジメント
▼活力都市推進における健康寿命の延伸

内部障害を示すヘルプマーク

岡部 享 (社会民主党議員会)



問 本市のヘルプマークの配付場所は。また、マークの意味や要配慮者であることなどの、市民に対する周知に向けた取り組みは。



答 ヘルプマークについては、障害福祉課、各地域福祉課、保健所、各保健福祉センター、こども育成健康課の窓口で配付を行う。本市では、各窓口で啓発用のポスターとチラシも配置するとともに、広報とやまへの掲載や、市ホームページで、本市においても配付を行うことを案内するなど、ヘルプマークの普及に向けた周知に努めたい。(福祉保健部長)

【質問項目】

▼内部障害を示すヘルプマーク ▼防犯カメラ設置補助率の拡大
▼小中学校へのAED複数配置



ヘルプマークの啓発用チラシ

富山市の情報セキュリティ

木下 章広 (日本維新の会)



問 個人情報が含まれる文書が鍵のかからない棚に置かれたままであることは、大きな問題であり、全庁的なチェックと改善が必要と考えるが、見解は。



答 個人情報を含む文書が増加しており、一部の所属では保管場所の確保が間に合っていない。そのため、カーテンで目隠しをするなど、一目で個人情報を含む文書であることが分からないよう配慮を行っている。引き続き、研修等を通じて個人情報を含む文書を適切に保管するよう周知するとともに、現状を確認し、改善を図っていきたい。(企画管理部長)

【質問項目】

▼富山市の情報セキュリティ

教員の多忙化解消（部活動指導員の配置）
島 隆之（光）



問 部活動指導員を市内中学校に5名配置すると聞いていたが、その配置はできたのか。

答 平日の部活動の時間に定期的に学校に出向くことが難しい等の勤務時間の問題、事故が発生した際の責任の問題、部活動指導員による指導について保護者や生徒の理解が得られるかどうか等の課題があったことから人材を確保することは難しかったが、市内4つの中学校に5名の部活動指導員を配置することができた。（教育長）



【質問項目】

- ▼小学生の登下校時の不審者対策の現状 ▼音川校区の学童保育の進捗状況
- ▼30年度放課後児童健全育成事業特別拡充事業の状況
- ▼教員の多忙化解消等に向けての新たな取り組み

上滝線のアクセス改善

赤星 ゆかり（日本共産党）



問 朝菜町駅南側の踏切東側にスーパーマーケットができる話がある等の周辺の変化を勘案し、改善を進めてはどうか。

答 交通事業者とともに踏切や駅の移設によるアクセス改善案を検討してきたが、地元や駅利用者の理解が必要なこと等の課題があり、短期的に解決することは難しい。安全性の確保や利用者の増加を図るためにも、引き続き事業者に働き掛け、状況に応じ補助金などの支援を考えたい。また、踏切や駅の移設に関し町内会等で合意形成が図られるよう出前講座等を通じた情報提供に努めたい。（市長、活力都市創造部長）



【質問項目】

- ▼学童保育の拡充 ▼公共施設のバリアフリー化
- ▼上滝線のアクセス改善 ▼障害者福祉と介護保険

富山市の水害対策

東 篤（社会民主党議員会）



問 県や国が管理する河川のカメラ映像について、一括して本市のホームページから見られるようにすればどうか。

答 国が管理する河川は、富山河川国道事務所のホームページを経由し、河川監視カメラのライブ映像サイトへアクセスすることで閲覧できる。県が管理する河川は、富山県河川課のホームページから直接、富山県河川海岸カメラのサイトへアクセスすることで閲覧できる。市のホームページにある「緊急・防災」バナーから、これらのサイトへ最小限の操作でアクセスできるよう、国や県と協議していきたい。（建設部長）



【質問項目】

- ▼富山市の水害対策
- ▼県産・富山市産食材を使用した学校給食の現状と推進



富山県河川海岸カメラのサイト

- こんな場所でも「市議会定例会」のお知らせをしています。
- ⑤ 電鉄富山駅の公共交通デジタルサイネージ（電子看板）
 - ⑥ 富山ライトレール・ポートルーム車内広告



？市議会豆知識

Q 市議会ってなんですか？

A 富山市をより良いまちにするためには、市民全員が市のことについて話し合い、一つ一つ進めていくことが大切ですが、実際に市民全員が集まって話し合うことは不可能です。そこで、市民は市民の代表者として「市長」と「議員」を選挙によって選びます。市長が実際に市政を執行し、議員はその市政を監視し、まちづくりの方針や市の予算などの重要な事柄について話し合い、決定します。この議員で構成される機関を「市議会」といいます。

Q 市議会はいつ開催されていますか？

A 市議会には、年4回（3月・6月・9月・12月）定期的に行われる「定例会」と、必要に応じて行われる「臨時会」があります。